

2012年 岡山市議会11月議会

個人質問 竹永光恵

1・岡山市教育振興基本計画(案)について

9月議会から引き続きこの問題を取りあげます。70項目以上のパブリックコメントにも丁寧に答えていただき教育委員会が市民と一緒にこの計画をつくりあげていこうとする姿勢が感じられます。この計画は、岡山っ子育成条例の理念を踏まえ、掲げた目標を実施するためのスケジュールや評価シートの基準、指針となるという位置づけで策定されるということです。いうならば、学校、家庭、地域がどういう岡山の子どもを育てるかという理念とその実践の基本の計画という位置づけです。

まず基本理念について伺います。

9月議会で私は教育長に「教師になってよかったのか？」と伺いました。教育長はそのときはっきりよかったと答えられ、何よりも子どもの成長が実感できるときに教師の喜びややりがいを感じるとおっしゃいました。私はその言葉に教育の原点を感じました。

- 1) この計画案には、「家庭、学校園、地域社会、行政が連携して取り組まなければ解決できない状況になっている」と記述されています。家庭が家庭として機能していない実態がふえている現状や、学校が居場所になっていない子ども達の現状も踏まえ、家庭の責任を一番にうたうのではなく子ども達の成長をともに喜び、こどもが大切にされている実感が持てるように、家庭、学校園、地域社会、行政が連携して子育てに取り組むことが重要です。その上でスクールソーシャルワーカーなどの専門職の位置づけを明記していただきたいがどうか？
- 2) 他の計画と連携するとあるが、食育推進基本計画や、健康市民おかやま21などとも連携し、より地域で子どもを育てるという共通認識を持つ必要があるがどうお考えか？
- 3) パブリックコメントでは、子どもと向き合う時間をとるために教職員の増加をという意見が複数ありました。単年度ごとに実施計画をたててみなおしを行っていきますとの回答です。

また現場では講師まで担任を持っている状態で、雇用形態が不安定な方にそこまでの重

責を担わせていいのか？また親や生徒の視点からも正規教員の配置がのぞまれています。教育委員会はこのことをしっかり認識していただき、この基本計画にも正規の教職員の増員の必要性を文言にすべきだと考えるがいかがか？

- 4) 西大寺中学校が、被災地の気仙沼市を訪れた報告会を地域に向けても開催しました。内容は、3・11以降中学生達がどんな思いで過ごしてきたかを取材し劇にして伝えているもの、学校だけでなくボランティア団体やNPO団体などとも交流し、一人はみんなのためにみんなは一人のためにという生き方の理念を学んできた、中学生らしい感性での報告に会場は感動の涙と拍手に包まれました。まさに計画にある「正義感や規範意識」は押し付けでなく体験に基づき主体的にはぐくまれるものだとこの取り組みを通して地域の方も実感をしたと思います。子ども達の感性の育成、地域の教育力の向上、両方に相乗効果があったと思います、行政に出来ることはそういう環境づくりの予算措置も含め支援です。ただ、これは生徒会の生徒だけで、防災というテーマに限ってのとりくみです。
- 防災のみに限らず、ボランティアやエイズ予防、がん教育などテーマや内容も子ども参画で決定し、さまざまな社会団体などと交流し実体験できる機会を継続的に子ども達に提供できるよう計画に盛り込むことはできませんか？

- 5) パブリックコメントの中でも土曜日の授業の再開の声もありました。先日土曜日の授業を年3日再開するとの方針を示されました。その目的授業の加重負担を軽減するためなのか？地域との交流を深めるものなのか？年3回でどういう効果が上がるとお考えなのか、ご所見をお聞かせ下さい。
- 6) この計画を実施するにあたって、条件整備計画が必要となります、少人数学級、特別支援学級の充実、教職員以外の専門職の配置など単年度計画に盛り込むとのことですが長期的展望をもって計画的に実施に向け整えていく必要があると思うがいかがお考えですか？

2・ いじめ根絶をねがって

日本共産党は先日、「いじめのない学校と社会を～日本共産党の提案～」を発表し何よりも子どもの命をまもり「いじめ」を解決するために国民的議論を呼びかけました。我が党の提案は何よりも子どもの命を守るために人権侵害と暴力である「いじめ」の放置・隠蔽が「安全配慮義務違反」に当たることを明確にすることを学校と教育行政の基本原則とするを一番に掲げました。

- 1) 現場の実態を踏まえたご所見をお聞かせください

- 2) 全教職員、全保護者に情報を共有することが大切です。
 ある、小学校教諭の毎日学級通信を出し、いいことも悪いことも、どんなトラブルも実名で掲載し、トラブルの当事者批判ではなく、こういうことを学んだというふうに掲載したという実践をうかがう機会がありました。トラブルの当事者はけして親には本当のことをいわないわけですが、学校が包み隠さず伝える姿勢で、親からも子育ての悩みを出せる、また子どもの変化やいいところも出るわけですから、こどもも認められたと実感できるクラスに変化していったとのこと。まさに、愛されていると実感できるクラス作りを実践されていると伺い感動をいたしました。すべての先生が毎日通信を出すのは大変だし強制する話ではないですが、保護者や地域との情報の共有化についてのお考えをお聞かせください

- 3) 子ども達の自主的活動の比重をたかめることが、いじめを止める人間関係につながると思います、そのためにも西大寺中学校などで行われている協同学習のとりくみが必要で、効果と必要性をどうお考えでしょうか？

- 4) 加害者に対する考え方はどうでしょうか？出席停止措置やその間のケア、学習の保障などどのようにお考えなのでしょうか？

- 5) いじめによる事件、事故、自殺などの重要なことが起きた後の事実調査や被害者、遺族の知る権利を保障するためのシステムなどどのようにお考えか？基準やマニュアルはあるのか？なければその必要性をどうお考えなのか？

- 6) いじめに関する独自の研修がありません、効果の薄い研修などは見直し、児童虐待のようにケースごとの検証や教育学会や小児医師会、被害者団体などの参加も含め「いじめ」に焦点をあてた研修を長期休業期間中に実施してはいかがでしょうか？

3・岡山市立学校の適正規模化について

先の市民文教委員会で岡山市立学校の適正規模化についての基本的な考え方の案が示されました。今までの適正規模かについての総括と検証のため蛍明小学校の児童、保護者、教職員に対してアンケートを実施したとのこと。その結果にもとづいて示された案に

は適正化の留意点がいくつか示されました。

学校と地域とのかかわりに配慮すること、効果的・効率的な財政投資を行うなどと示されています。

そこで伺います

1) その結果にいたるまでの検証が、蛍明小学校だけでいいのか、地域を二分するほどの大議論が進められていった中央小の統廃合までの経過と今の検証、そして足守地域でもまだ新しい幼稚園が閉園となったことなど、そもそも計画性もなしに結果ありきで進められていったことへの反省も考察もなにもない案となっています。

事実としての経過をふまえきちんと今までのことを分析検証すべきです、いかがお考えでしょうか？

2) そのための材料として、築年数や近隣の地域の特徴など根拠資料もつけるべきでは？たとえば福祉施設、生涯学習、文化拠点の施設との複合化と漠然と記述していてもイメージがわかりません、各地域の特性も分析しもう少し具体的な内容にはならないのか？なにをしたいのかわかりません。ご所見をおきかせください

3) 幼稚園との三年教育についての格差是正方針は保健福祉局の「就学前教育・保育のあり方について」にゆだねるとこの検討項目からはずされています、しかし地域づくりとの連携や分析をするなかで教育委員会としてこの地域は3年教育を優先すべきではないか？などの独自の考えが生まれてくるのが当然だと思いますが、まったく検討もしていないのか？所見をお聞かせください。

4・岡山市コンベンション戦略プランについて

先の経済委員会で岡山市コンベンション戦略プラン案が示されました。昨年度の分析結果を踏まえての方針とのことです。1000人以上の開催実績が少ないことや現在の収容能力では対応が困難とし、主要会場と中小会議場をあわせて3000人以上を収容できることがのぞましい、1000～2000人を収容する大ホールが要望されていると書いています。そこで伺います

1) 昨年提案されていた3000人規模のコンベンションは単一の施設ではなかったのか？単一施設で3000人規模と複数施設で3000人規模というのはまったく違うものです、岡山市に今必要な施設とはどう検討されこのプランにいかされているのか？お

考えをお聞かせください。

- 2) 戦略プランに示されている3000人以上を収容できる規模、多様性を持つ平土間の多目的ホールと展示機能、便利なアクセスというのは具体的にどうお考えなのか？
コンベックス岡山のような大きな展示会や見本市などをする展示場が駅前に必要なのか？ 小さな展示場や会議室ならば市民会館の建て替えで十分ではないか？
- 3) 会場、宿泊とともに会議運営能力があるかがコンベンション誘致成功の鍵です。
オール岡山の推進体制で岡山みらい創造コンベンション協議会設置とありますが具体的な役割は？
- 4) 横浜市のように滞在型コンベンション誘致を方向性として定めており、市民参加の組織作りが成功の鍵となっている都市もあります。具体的なお考えをお聞かせください
- 5) 産業振興における効果の増大、社会的効果など書いてありますが具体的にお聞かせください。

5・市民会館のあり方等について

市民会館を市民文化ホール機能と併設した形で後楽館高校跡地に移転建て替えという方向性が示されました。

そこで、伺います。

- 1) 市民文化ホールの機能と併設するとは具体的にどういう施設になるのか？
小ホール、大ホールをつくるのか？
- 2) 福祉文化会館には、現在女性ホーム、勤労青少年ホーム、老人センターが入っていますが、それぞれの目的と実際の利用状況、目的は終わったとする根拠を説明してください。
- 3) 障害者センターは相談業務や、視覚障害者の点字図書室など今利用されている方々に対しての代替施設のことを伺うつもりでしたが先日の福島議員の質問で利用者の声を聞きながら、関係機関と連携し検討するとのことですので要望に変えさせていただきます。

- 4) 女性や勤労青少年のニーズがかわったというなら、現在、NPO など市民団体が活発に活動しています。新たなる市民活動の拠点となる施設が政令市岡山として必要だと思います。ご所見をお聞かせください。